



履修履歴活用コンソーシアム～「学び」と「働く」を繋ぐ架け橋に～

2018年新卒採用活動における 履修履歴活用実態調査

2017年9月27日発表

アンケート概要

このたび履修履歴活用コンソーシアムでは、2018年新卒採用における履修履歴活用実態（新卒採用における企業の履修履歴の取得・活用状況）調査を、コンソーシアム加盟企業が運営する就職サイトの会員を対象に本年の6月下旬から7月末にかけて実施いたしました。

- 調査実施者：履修履歴活用コンソーシアム <http://risyu-katsu.jp/>
- 実施期間：2017年6月27日～7月29日
- 調査対象：2018年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生
(コンソーシアム加盟各社が運営する就職サイト会員学生)
- 調査方法：Eメールにてアンケートへの回答を依頼。学生はWeb上のアンケートフォームより入力
- 回答数：1,456名



質問 1 : 履修履歴の提出を、選考の早期段階で求めている企業名を教えてください（従業員約1,000名以上の大企業のみでお願いします）

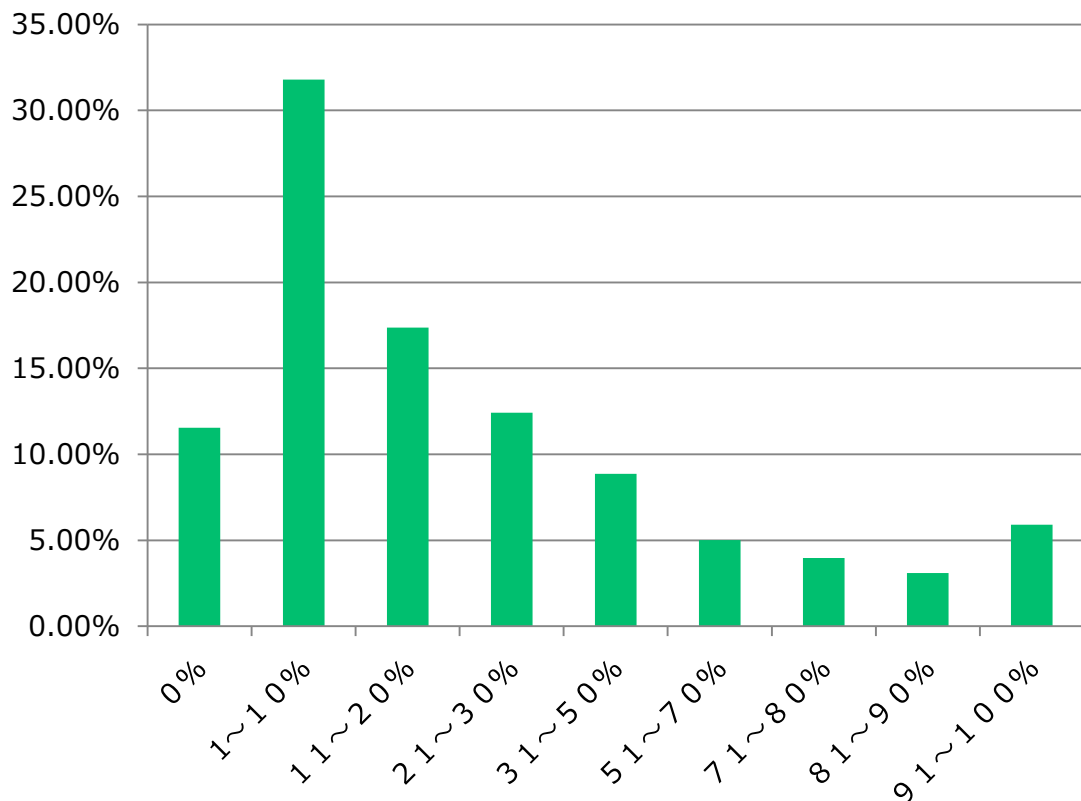
- A) 応募時に提出を求められた企業
- B) 応募時ではないが、1次選考までに提出を求められた企業

回答結果は下記W e b サイトにて公開しております

<http://risyu-katsu.jp/reports2018company/>



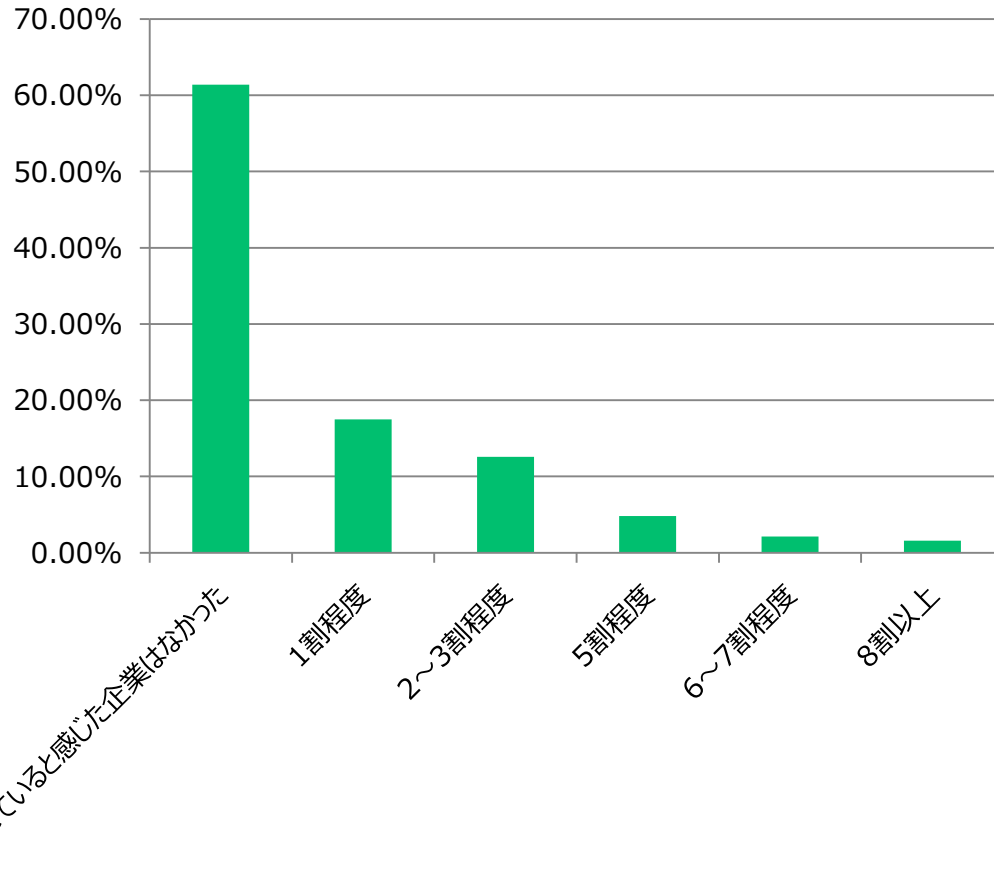
質問 2 : 履修履歴の提出を、応募時以降いずれかの選考段階で求めていた企業の割合をお教えてください



回答の選択肢	回答数	
0%	11.54%	168
1~10%	31.80%	463
11~20%	17.38%	253
21~30%	12.43%	181
31~50%	8.86%	129
51~70%	5.01%	73
71~80%	3.98%	58
81~90%	3.09%	45
91~100%	5.91%	86
合計		1456



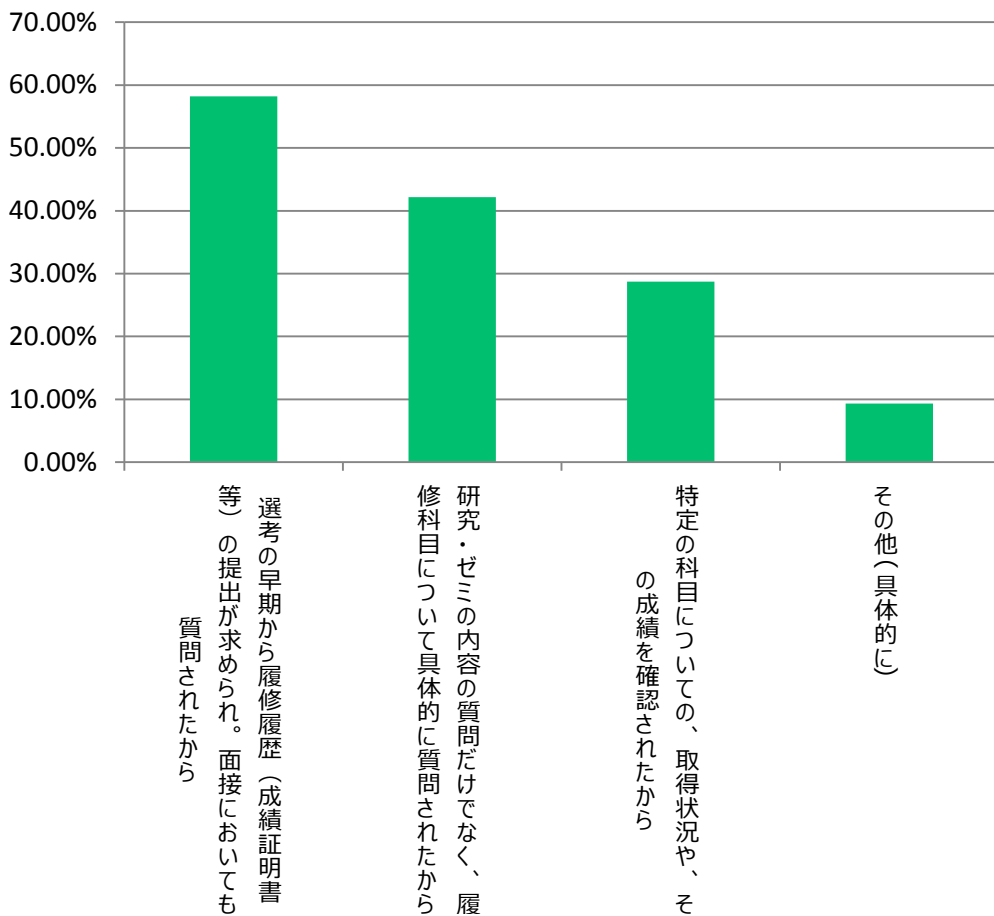
質問 3 - 1 : 自分の履修科目が、選考時に重視されていると感じた企業の割合を教えてください



回答の選択肢	回答数	
重視されていると感じた企業はなかった	61.40%	894
1割程度	17.51%	255
2~3割程度	12.57%	183
5割程度	4.81%	70
6~7割程度	2.13%	31
8割以上	1.58%	23
合計		1456



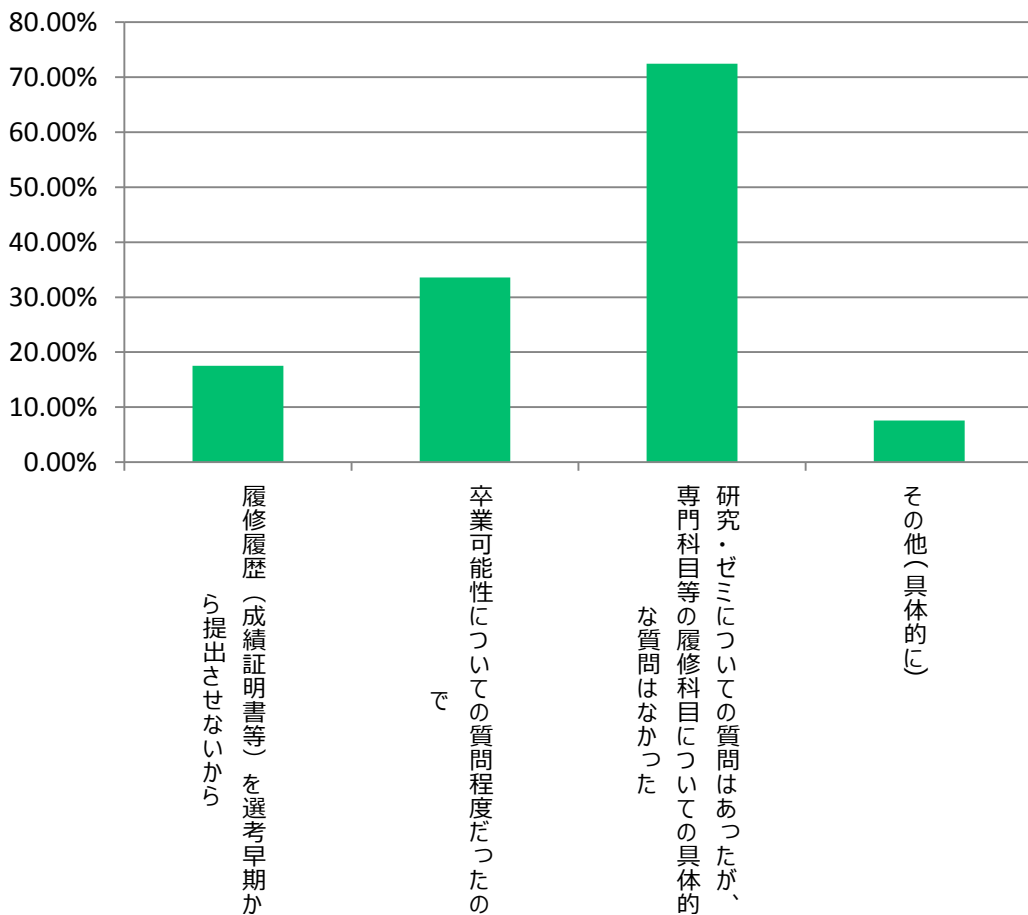
質問3 - 2 : 自分の履修科目が重視されていると感じた理由をお教えてください（「重視されている」と回答した学生のみへの質問。複数回答）



回答の選択肢	回答数	
選考の早期から履修履歴（成績証明書等）の提出が求められる。面接においても質問されたから	58.22%	294
研究・ゼミの内容の質問だけでなく、履修科目について具体的に質問されたから	42.18%	213
特定の科目についての、取得状況や、その成績を確認されたから	28.71%	145
その他（具体的に）	9.31%	47
合計		505

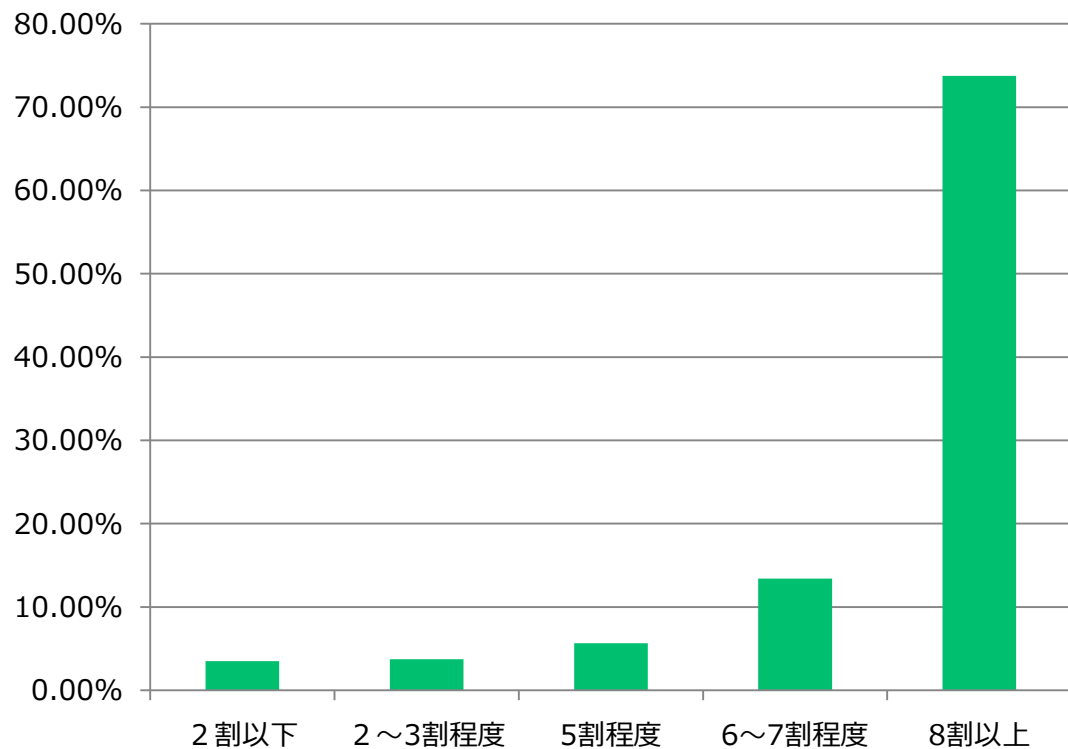


質問 3 - 3 : 自分の履修科目が重視されていると感じなかった理由をお教えてください（「重視されていると感じた企業はなかった」と回答した学生のみへの質問。複数回答）



回答の選択肢	回答数	
履修履歴（成績証明書等）を選考早期から提出させないから	17.54%	174
卒業可能性についての質問程度だったので	33.57%	333
研究・ゼミについての質問はあったが、専門科目等の履修科目についての具体的な質問はなかった	72.48%	719
その他（具体的に）	7.56%	75
合計		992

質問 4 : 授業にはどの程度出席していましたか

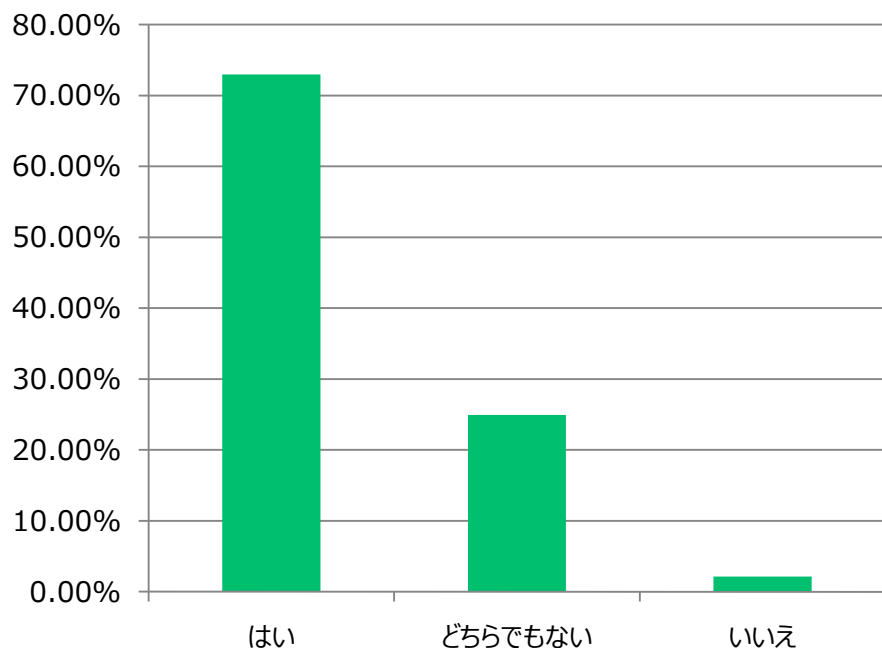


回答の選択肢	回答数	
2割以下	3.50%	51
2~3割程度	3.71%	54
5割程度	5.63%	82
6~7割程度	13.39%	195
8割以上	73.76%	1074
合計		1456



質問 5 : 企業が、履修履歴を採用時に取得・活用することへの印象お聞きします。

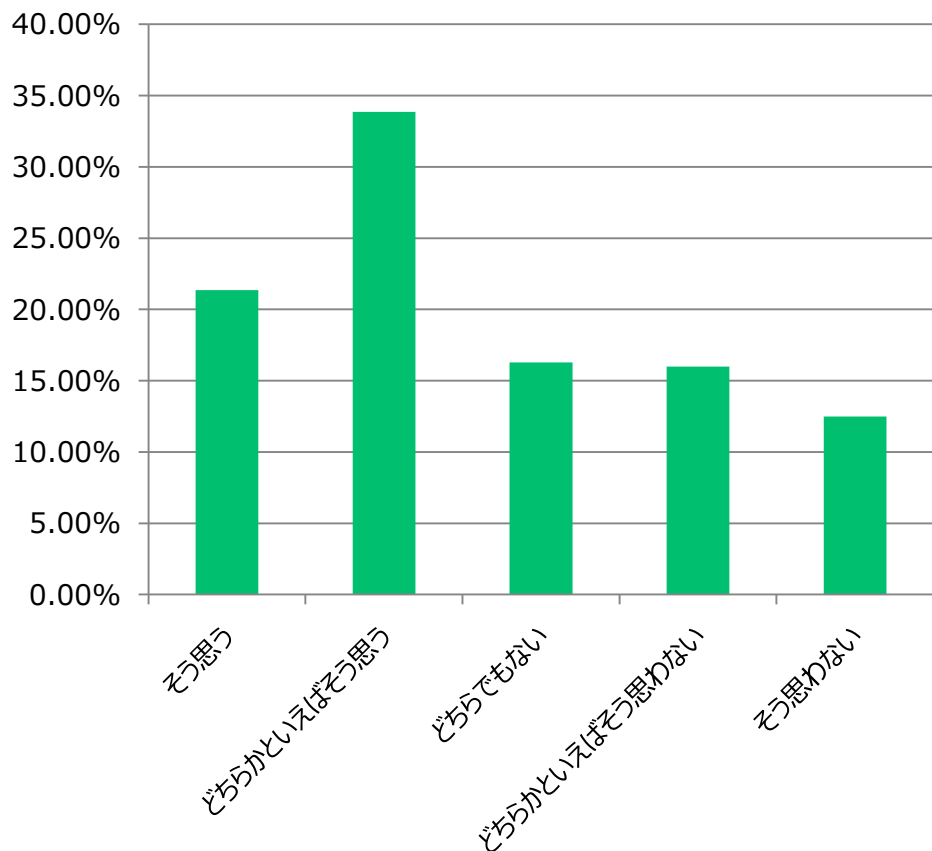
A) 選考時、学業と学業外両面から質問する企業の印象は良いですか？



回答の選択肢	回答数	
はい	72.94%	1062
どちらでもない	24.93%	363
いいえ	2.13%	31
合計		1456



B) 学業に関することは、学業外のことと比較して軽視されていると思いますか？

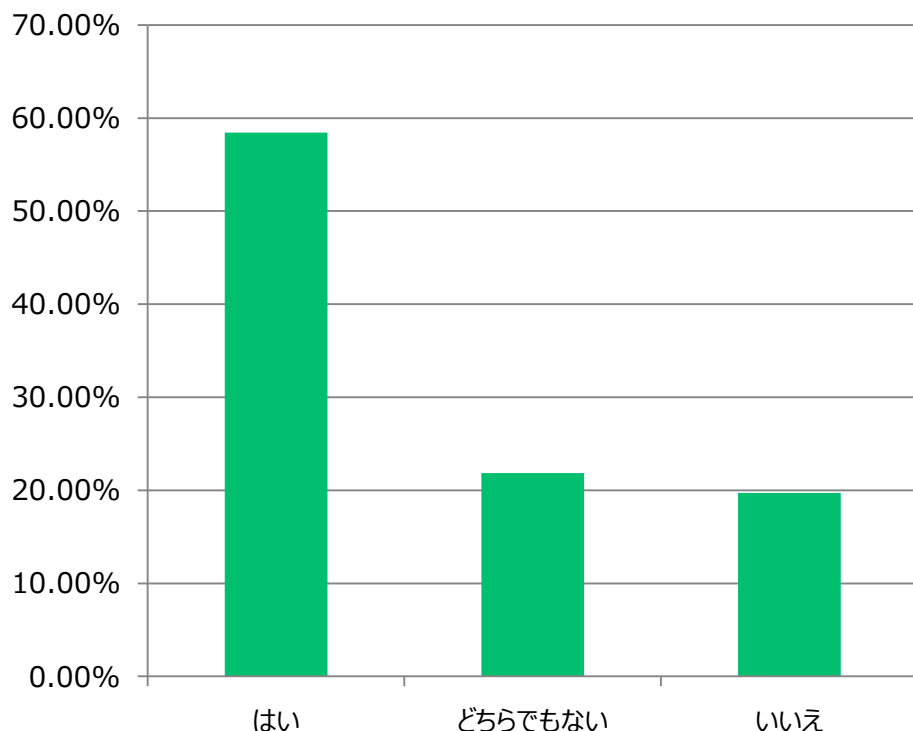


回答の選択肢	回答数	
そう思う	21.36%	311
どちらかといえばそう思う	33.86%	493
どちらでもない	16.28%	237
どちらかといえばそう思わない	16.00%	233
そう思わない	12.50%	182
合計		1456



C) 選考時に、履修科目に関する質問（※）を企業から積極的にされると、学生の学業への向き合い方は変わりますか？

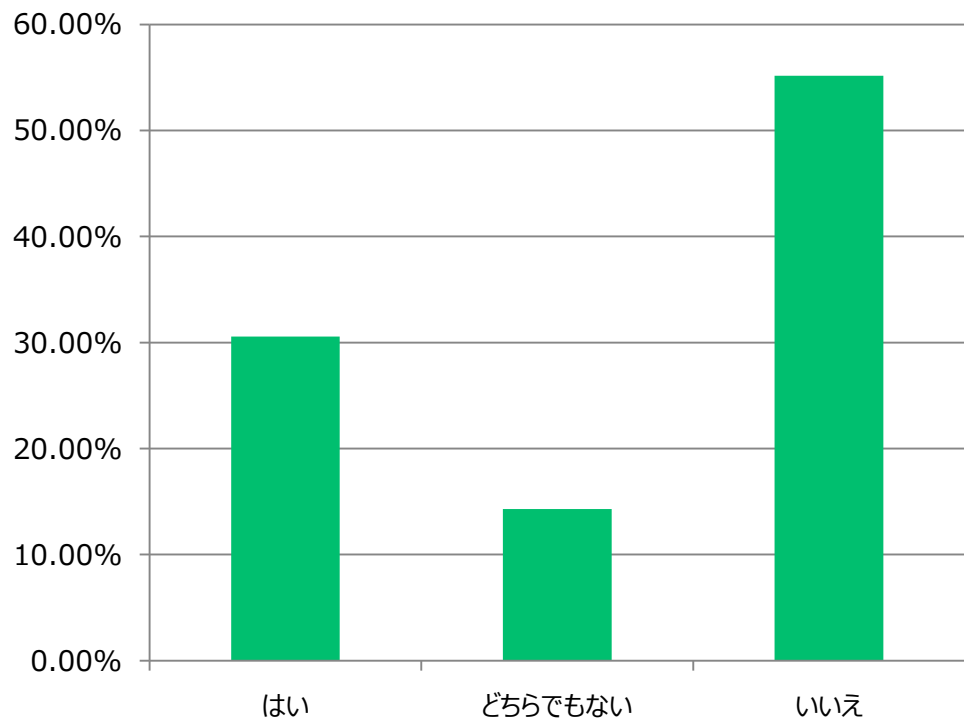
※「学業と学業外のバランス」「力を入れた授業や興味を持った授業」「授業の具体的な内容」等



回答の選択肢	回答数	
	割合	人数
はい	58.45%	851
どちらでもない	21.84%	318
いいえ	19.71%	287
合計		1456



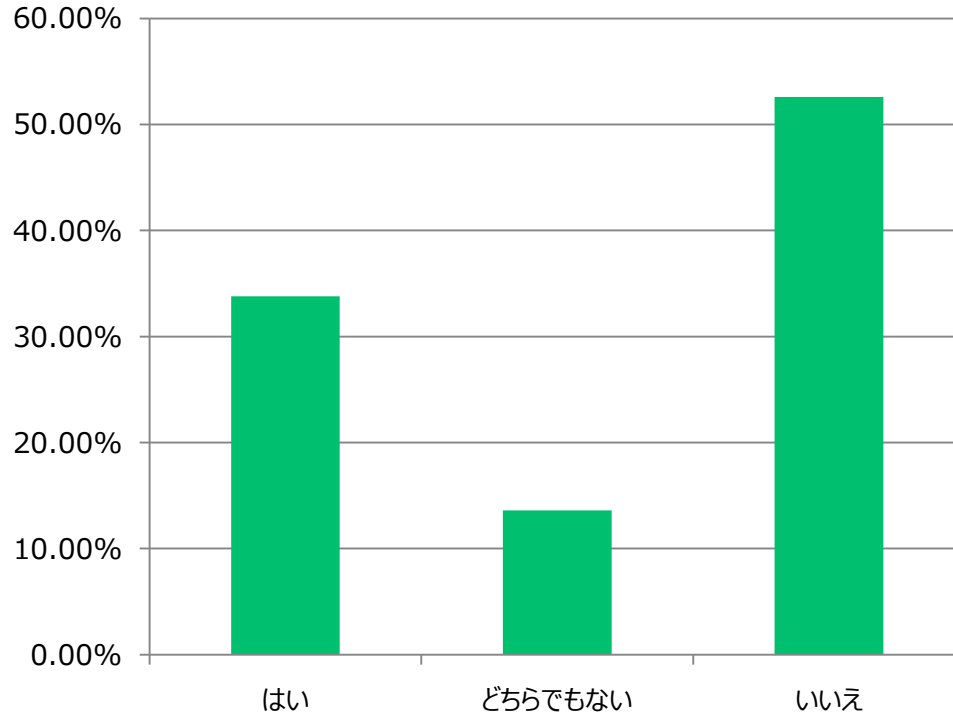
D) エントリーシートを記述する際、脚色したことはありましたか？



回答の選択肢	回答数	
はい	30.56%	445
どちらでもない	14.29%	208
いいえ	55.15%	803
合計		1456



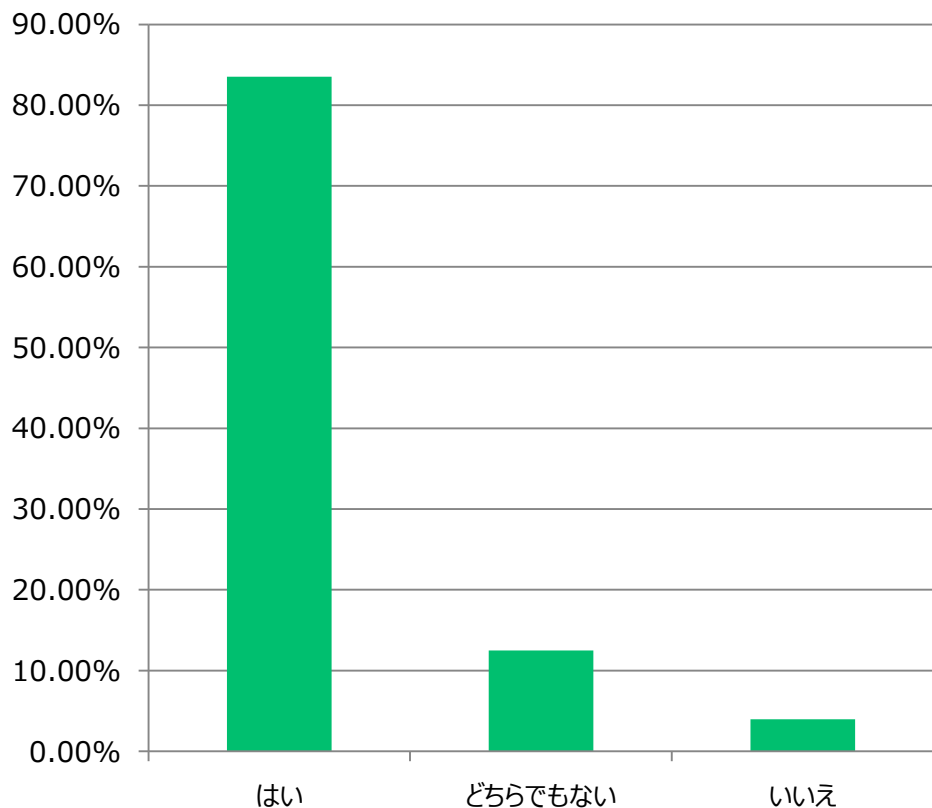
E) 面接で、自分のことを脚色して話したことはありましたか？



回答の選択肢	回答数	
	割合	人数
はい	33.79%	492
どちらでもない	13.60%	198
いいえ	52.61%	766
合計		1456



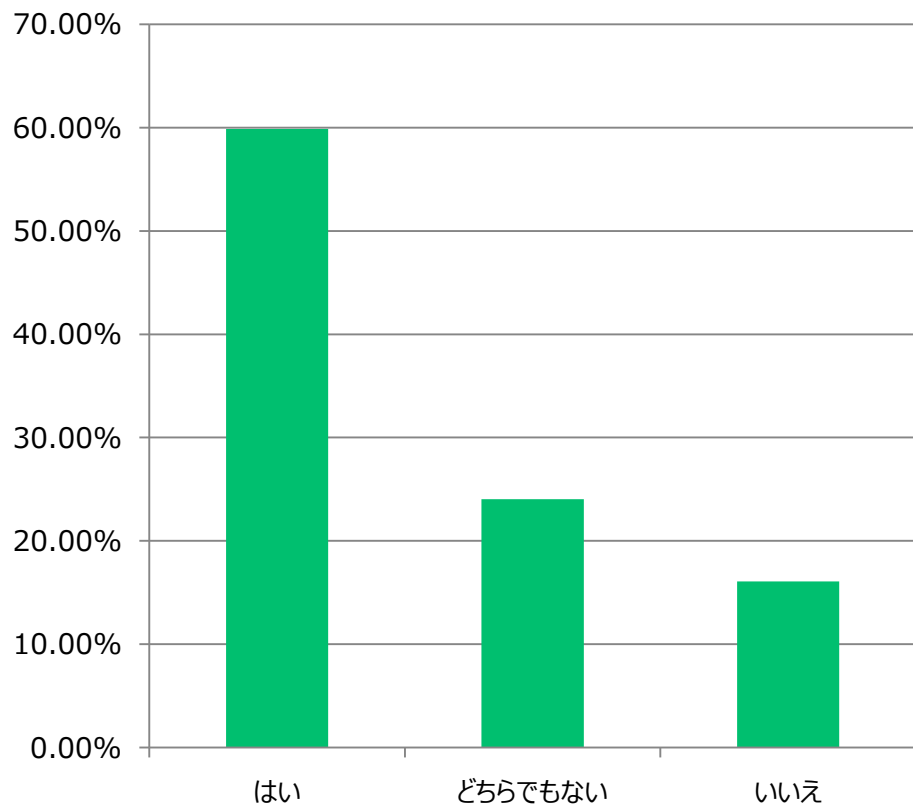
F) 学業に力を入れることは、 社会に出てから重要だと思いますか？



回答の選択肢	回答数	
はい	83.52%	1216
どちらでもない	12.50%	182
いいえ	3.98%	58
合計		1456



G) 学業に力を入れることは、 就職活動において重要だと思いますか？



回答の選択肢	回答数	
はい	59.89%	872
どちらでもない	24.04%	350
いいえ	16.07%	234
合計		1456

調査まとめ

今回の履修履歴活用実態調査では、現在の学生たちは学校の授業に真面目に出席し、学業に多くの時間を割いている現状にもかかわらず、企業からは軽視されている（と、少なくとも学生は感じている）ことが明らかになりました。

履修履歴活用コンソーシアムでは、企業経営者や採用担当者に対して、学業（何をなぜ学んできたか）に対する関心を高めてもらうための各種取り組みを今後も行ってまいります。企業はもちろんのこと、社会全体が「学生の学び」に注目することが、学生の学業に対する意識・意欲の向上につながり、高等教育機関の発展にも役立つものと考えております。

「学校での学びは、社会ではたらくうえでとても大事なことである」というメッセージを、企業が率先して発信することが何より大切なのではないのでしょうか。

なお、本調査は、2019年新卒採用の選考終了時期にも実施する予定です。

【本調査に関するお問い合わせ先】
履修履歴活用コンソーシアム
運営事務局 事務部長（株式会社パフ）保坂光江
電話03-3662-8144 FAX 03-3662-8018
e-mail info@risyu-katsu.jp

履修履歴活用コンソーシアムについて

2017年7月1日設立の、全国各地域の就職・採用支援事業者で構成された団体です。2017年9月現在、24社の企業が加盟しています。

<設立趣旨> (ホームページ <http://risyu-katsu.jp/found/> より抜粋)

【学生の「学び」と、卒業後の「働く」をつなぐ架け橋として】

日本の新卒採用シーンでは、「学生がどのような考えや価値観に基づいて学業に取り組んできたのか」ということ(＝履修履歴)に対して興味を持たれることが、今までほとんどありませんでした。

それが結果として、「就活が始まると学生が授業に出なくなる」という現象につながり、「企業の採用活動は学業を阻害している」との批判を招く一因にもなっていました。

かかる状況を改善していくことを目的に、私たち就職・採用支援会社は共同で「履修履歴活用コンソーシアム」を設立いたしました。

本コンソーシアムのサービスや活動を通じて、学生の「学ぶ意欲」が醸成され、社会で活躍するための基礎的なチカラを蓄えた人材が、大学をはじめとするすべての高等教育機関から多数輩出される世の中になることを願っております。

【コンソーシアムに関するお問い合わせ先】

履修履歴活用コンソーシアム

運営事務局 事務部長 (株式会社パフ) 保坂光江

電話03-3662-8144 FAX 03-3662-8018

e-mail info@risyu-katsu.jp